

別紙資料

生徒質問紙の回答に見られる篠路中生徒（３年生）の特徴

１．全国と比べて、肯定的な回答や積極的な回答が多いもの

質 問 事 項	
36-1	あなたは自分が PC、タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますか
36-2	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか
36-3	あなたは自分が PC、タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか
45	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか
74	キーボード（図面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書くことができますか
78	1, 2 年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べあったりする活動が行われていましたか

２．全国と比べて、否定的な回答や消極的な回答が多いもの

質 問 事 項	
9	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
40	1, 2 年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
42	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか
43	学習した内容について、分かった点や、良く分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
60	数学の勉強は得意ですか
61	数学の勉強は好きですか
69	英語の勉強は得意ですか
70	英語の勉強は好きですか

３．篠路中生徒の特徴から

日常生活が不安定で自己肯定感が少なく感じられますが、夢や希望をもって生活しているようです。人が困っているときには助けるという意識が高いです。

ICT 機器やタブレットの使用については使用することが得意な回答が多く、上手に情報を活用し授業に活かすことができています。

否定的な回答や消極的な回答が多い質問事項からは、自分の困り感には対応しきれていなく、不安な気持ちが出ているようです。そのため、積極的に行動したりすることが難しくなっているようです。

教科に関しては難しい授業があり危機感がうかがえます。学校では今後これらの情報を生かし、御家庭や地域の皆様に御協力や御支援をいただき、生徒たちが安心して、充実した学校生活と感じられるように質の向上を図っていきたいと思います。

令和8年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要と改善の方向【 国語 】

本校の概要

課 題

改善の方向

□「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- ・全国平均を下回っている。

□「情報の扱い方に関する事項」

- ・全国平均を下回っている。

□「話すこと・聞くこと」

- ・全国平均を下回っている。

□「書くこと」

- ・全国平均をほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「読むこと」

- ・全国平均を下回っている。

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内

- 文脈に即して漢字を正しく使うこと。

- 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。

- 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。

- 表現の効果を考えて描写する。

- 目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈すること。

- 文章の流れを捉え、意味を理解した上でふさわしい漢字を選ぶ活動の充実。

- 様々な方法を用いて情報を収集し表現する活動の充実。

- 課題を解決するという目的をもってグループで話し合う活動の充実。

- 比喩的な表現などの工夫を用いながら、自らの表現をよりよくする意識をもって文章を書く活動の充実。

- 文章の中心となる内容や重要な情報を捉え、必要な情報を取捨選択しながら要約する活動の充実。

令和8年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要と改善の方向【 数学 】

本校の概要

課 題

改善の方向

□「数と式」

- ・全国平均を下回っている。

□「図形」

- ・全国平均を下回っている。

□「関数」

- ・全国平均を下回っている。

□「データの活用」

- ・全国平均を下回っている。

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内

- 事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。

- 具体的な事象において、考察の対象となることを的確にとらえること

- 反比例の関係を表す式の特徴を捉え、 x の値に対する y の値を求めること

- データの傾向を的確にとらえ、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明すること

- 式や文字が何を表しているのか、事柄が成り立つ理由を筋道立てて考え、説明し合う等の学習活動の充実。

- 記号であらわされている事柄がどういう意味なのか説明し合う活動の充実。

- 関数の表、式、グラフの関係性の理解と基礎的な学習内容の習熟の徹底。

- データから読み取れることを説明する学習活動の充実。

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要と改善の方向【 英語 】

今年度は一人一台端末を利用した調査が行われ、その特性を利用して、問題は全員が取り組む共通問題（大問1）と実施日によって異なる問題、更に公開問題と非公開問題がありました。今回の結果概要では、公開問題の中でも共通問題から課題と改善の方向を提示させていただきます。

課 題

●日常的な話題に関する内容を聞き、概要を捉えること。

- ・全国平均を下回っている。

●日常的な話題に関する内容を読み、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること

- ・全国平均を下回っている。

●社会的な話題に関する内容を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くこと。

- ・全国平均を下回っている。

改善の方向

○レストランでの注文の場面や、駅や店での英語のアナウンスの場面など、実際の場面を想定した学習づくりを大切にしつつ、そういった場面で使われる言葉に慣れ親しみ、生徒が主体的に活用して会話をする場面などをつくる。

○話題の内容や文脈をつかみ、自分が必要としている情報が何かを認知し、抽出するなどして、相手と表現する活動などをしていきたい。

○環境問題や自然災害、絶滅の危機に瀕している動物たちといった社会的な話題について英語で学習しつつ、生徒自身が思ったことや感じたこと、考えたことなど整理する時間をとったりするなどして、自分の考えを英語で書いて表現できる取り組みなどをしていきたい。